



## 夏休みには自然と触れ合い、たくましく！

校長 柴田 義晴

5年生、6年生は、すぐにも富浦臨海が始まります。目標とした遠泳では、ゴールを目指して精一杯がんばってほしいものです。応援しています。明日から長い夏休みに入り、しばらく学校やお友達ともお別れとなります。チョッピリさみしくなりますが、夏休みには是非自然とたくさん触れ合い、2学期には元気で、たくましくなって戻ってきてください。楽しみにしています。夏休みは、一日の生活のリズムが大きく変わってきます。自分で生活リズムを作っていかなければなりません。家にこもっていると、人との関わりもなくなり、コミュニケーション力も低下してしまいます。夏休みには、是非、『規則正しい生活』と『人との触れ合い』を積極的につくっていくことも大切です。

さて、今年の夏は、イソップ童話の「農夫とその子どもたち」というお話を取り上げたいと思います。ある農家に怠け者の三人の子どもがいたそうです。働き者の農夫は、年老いて亡くなる直前に三人の子どもたちを呼び、「わが家の畑に宝物を隠しておいたから、今年の収穫が終わったら深く掘り起こしてみろ」と言い残して亡くなりました。子どもたちは、親の遺言通り畑を深く掘り返しました。しかし、なかなか宝物が見つからなかったため、結局畑中を深く掘り起こすことになりました。それでも宝物は発見できなかったのですが、翌年の収穫はこれまでにない大豊作に恵まれたそうです。そして、その収穫物でたくさんの収入を得たそうです。子どもたちは、働き者の農夫（父親）から掛けがえのない宝物を手にしたことを大変喜んだそうです。その宝物とは、「親の教え」「働くこと」「努力は報われること」（これらは私の想定）です。また、『嘘も方便』と言うところでしょうか。

ところで、教育基本法第10条には、子どもの教育は親または保護者に第一義的責任を有するものであって、生活のために必要な習慣を身に付けさせるとともに、自立心を育成し、心身の調和のとれた発達を図るよう努めるものとする、とあります。夏休みは、学校や教員の目の届かない期間・場所でもあり、正にお父様、お母様のご活躍のときと存じます。イソップ物語で取り上げた農夫のように、掛けがえのない宝物を授けて頂ける機会でもあると思っております。子どもにとって掛けがえのない宝物になるのなら『嘘も方便』を大いに活用して、有意義な夏休みになることを期待致し、心から応援申し上げます。

最後になりましたが、二学期の初日が日曜日ですので、今年の夏休みは46日間という長い夏休みとなります。ご家庭におかれましては、お子様の交通事故や水の事故には十分ご留意され、ご家族で元気で楽しい夏休みをお過ごし下さいますよう、お願い致します。9月には、お子様の一段と大きくなった体、そして元気な笑顔とともに、自由研究や夏休みの体験談を教員一同、鶴首して待っています。保護者の皆さまには、一学期中、学校運営に際しまして、多大なご協力とご支援を頂き、心から感謝申し上げます。

**ご家族で、元気で、楽しい夏休みをお過ごしください！**